

映文協ニュース

2026年5月1日発行
さいたま市北区日進町2丁目771番地
埼玉映画文化協会
TEL 048-822-7428 (代表)
FAX 048-824-3263
E-mail eibunkyou@gmail.com

<埼玉映画文化協会主催上映会(5月・6月)のご案内>

埼玉映画文化協会の活動に対しまして、多くの皆様のご支援、ご協力をいただいておりますことに、心より感謝申し上げます。また毎月開催しております主催上映会にたくさんの参加をいただいておりますことにお礼申し上げます。5月、6月の主催上映会のご案内です。ご家族、お友だち、お誘い合わせての参加をお願いいたします。

●5月26日(火)映画「春との旅」上映(日本語字幕付き)

昨年11月、92歳で亡くなられた仲代達矢さんを偲ぶ上映会です。

仲代さんは、1952年に俳優座養成所に入り、70年以上にわたって映画と舞台で活躍されました。数々の代表作や無名塾での後進の育成など、映画・演劇界に残された足跡と功績はとて大きなものがありました。12歳で終戦を迎えた仲代さんは、「戦争だけは二度とやってはいけない」と反戦平和の信念を持ち続けました。

映画「春との旅」は、日本映画界を代表する数々の名優との共演がなかった2010年の作品です。

●6月29日(月)映画「しゃぼん玉」上映(日本語字幕付き)

親に見捨てられ、犯罪をおかした青年が、逃亡先で出会った老婆や村の人々の愛情に接して、人間の心を取り戻していく様子を描いた感動作です。

映画の舞台は日本の三大秘境と言われている宮崎県椎葉村で、豊かな自然や祭り、郷土料理も映画を彩ります。主演は市原悦子さんと林遣都さん。原作は乃南アサさんのベストセラー小説で、人の心の美しさや人間の再生をテーマとした清々しい日本映画の良心が詰まった作品です。

名優・市原悦子さんの遺作でもあり、日本映画史に残る一作です。

<埼玉映画文化協会 2026年2月・3月の主な活動の報告>

- 2/ 4 (水) (公財)和光市文化振興公社主催(和光市サンアゼリア大ホール)「父と僕の終わらない歌」上映
- 2/14 (土) 本庄市青少年育成市民会議主催(本庄市児玉文化会館セルディ)「野生の島のロズ」上映
- 2/16 (月) 皆野町公民館主催(皆野町文化会館ホール)「お終活 熟春！人生、百年時代の過ごし方」上映
- 2/22 (日) 鶴ヶ島九条の会主催(鶴ヶ島市西市民センター)「あの日のオルガン」上映
- 2/23 (月) 加須市明るい社会づくりの会主催(パストラル加須)「オレンジ・ランプ」上映
- 2/24 (火) 主催上映会(埼玉会館)「長崎-閃光の影で-」上映
- 3/ 7 (土) 美里町主催(美里町遺跡の森館ホール)「侍タイムスリッパ」上映
- 3/ 8 (日) 富士見市ピースフェスティバル実行委員会主催(鶴瀬公民館)「劇場版アナウンサー戦争たち」上映
- 3/12 (木) 秩父地区更生保護女性会主催(秩父市伝承館ホール)「ぼけますから、よろしくお願ひします。」上映
- 3/18 (水) 県立新座総合技術高校「島守の塔」上映
- 3/25 (水) 主催上映会(埼玉会館小ホール)「太陽(ティダ)の運命」上映
- 3/28 (土) 医療生協さいたま生活協同組合松井支部主催(所沢市こぶし自治会館)「ぼけますから、よろしくお願ひします。おかえりお母さん」上映

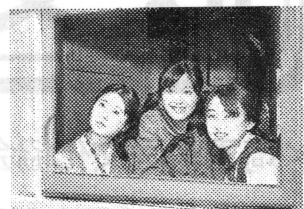
「映画上映活動継続のための募金」ご協力へのお礼とお願ひ(5次)

コロナウイルスの影響で、映画上映活動が著しく制限され、継続が困難となり、やむなく、2021年の6月より募金のお願いをさせていただいております。おかげさまでこの間、本当にたくさんの方々のご協力をいただき、職員一同深く感謝いたしております。今後も活動の継続に努力してまいります。

募金のお願い文と郵便振替送金先を、当社ホームページ <http://eibunkyou.com/>に掲載させていただいております。また、ご連絡いただければ、お願い文と振替用紙をお送りいたしますので、引き続きのご支援をよろしくお願い申し上げます。

2月24日（火）映画『長崎－閃光の影で』上映会に寄せられた感想より

- 少女たちのけなげさに圧倒されました。あまりに理不尽な原爆という得体の知れない攻撃を受けて、人間はあまりにも無力。このような武器はぜったい製造してはいけないし、行使してはいけないと思いました。ロシア侵攻、ガザの戦い、世界のあちこちで火種が。人間はなんて愚かな生き物なのか。でも絶望ばかりではどうにもならない。いさかいをやめて手をとり合わなくては。とても良い映画でした。
- 毎月楽しみにしています。世の中の大事なこと、世相、時代の流れ、いつも考えさせられます。大事なことは何かを改めて気づかされます。今日の映画も同じで憲法改悪の今の流れが心配です。子や孫に伝えていく、私の今の課題です。



3月25日（水）映画『太陽（ティダ）の運命』上映会に寄せられた感想より

- 沖縄の歴史、沖縄の苦悩の一端を、映画を通して強烈に感じました。「民主主義とは」「地方自治とは」と突き付けられる内容。民主主義は多数決であるけれど、少数意見が黙殺され続けることは決して民主主義ではない、とも思いました。いつも良質な映画に出会う機会をいただき、感謝しています。
- 感動しました。深く考えさせられる映画でした。日本の政治に危機感を覚えている現在、ひとりでも多くの人にこの映画を観てもらいたと思います。佐古監督、素晴らしい映画をこれからも作り続けて下さい。そして埼玉映画文化協には、素晴らしい映画を私たちに届け続けて下さい。ありがとうございます。



埼玉映画文化協会主催上映会

会場は埼玉会館小ホール



2026年7月29日(水)
「はだしのゲンはまた怒っている」



2026年8月25日(火)
「ら・かんぱねら」

各地の上映会 <詳細は、埼玉映画文化協会へ>

「104歳、哲代さんのひとり暮らし」

6月6日(土) ① 14:00
北本市文化センター

☐電話予約 1,000円(当日 1,200円)
●主催 北本よい映画をみる会



「劇場版・アナウンサーたちの戦争」

7月11日(土) ①10:00 ②14:00
和光市民文化センター・サンアゼリア大ホール

☐電話予約 1,000円(当日 1,200円)
●主催 (公財)和光市文化振興公社 ●協力 シネサロン・和光



好評
発売中

秩父事件 120周年記念作品「草の乱」セルDVD販売価格とご送金口座のご案内

●定価 5,170円のところ、読者割引価格は1枚 4,650円(税・送料込)です。3枚以上まとめてご注文いただきますと1枚あたり 4,130円となります。学校・団体用DVDは 13,200円(税・送料込)です。※郵便局の振込用紙でお申し込みいただけます。(通信欄にDVDの申込枚数をご記入下さい)

郵便振替 口座番号 00180-5-252730 加入者名 株式会社埼玉映画文化協会事業

